

日本語演習Ⅱ (前期)

2単位 3年(前期), 4年(前期)

仙波 光明・教授 / 社会創生学科

【授業目的】 中世前期日本語の文献資料解説を通して、日本語研究の方法を身につける。自ら調査する過程に於いて、辞書、先行研究、その他参考文献等の適切な利用方法、探索方法を学ぶ。

【授業概要】 『宇治拾遺物語』を対象とし、各説話の解説(現代語訳)を、正確に行いながら、同時に、特定の語について深く掘り下げる。受講者は、それぞれ分担の説話と、自らが設定したテーマについての調査結果を発表する。

【キーワード】 宇治拾遺物語集、説話、中世日本語

【履修上の注意】 特になし。

【到達目標】

1. 大型辞書の適切な利用と評価ができるようになる。
2. 古典文法の基礎的知識を活かしながら、日本語の変化に気付く。
3. 先行研究を効率的に探索し、有効に利用できる。

【授業計画】

1. 授業の進め方について説明し、各人の分担を決める。
2. 『宇治拾遺物語集』から巻第6を順次検討してゆく。
3. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
4. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
5. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
6. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
7. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
8. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
9. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
10. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
11. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
12. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
13. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
14. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
15. 『宇治拾遺物語集』第6の、割り当てられた項目についての調査報告と議論。
16. まとめ

【成績評価】 出席、発表、授業参加の意欲などを総合して評価する(50%)。また、発表内容にもとづくレポートを合わせて評価する(50%)。

【再試験】 なし

【参考書】 各自、『宇治拾遺物語集』を用意すること。文庫本でもよい。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218911>

【連絡先】

⇒ 仙波 (2319, 088-656-7117, senba@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日 16時30分~ 18時ほか随時。)